122番の歌 揺らぐことなく勝利を得る

# 何があってもエホバから離れない

*「主よ，私たちは誰の所に行けばよいのでしょう。あなたは永遠の命の言葉を持っています」。* ヨハネ 6:68

ポイント：何があってもエホバから離れないでいるためには，土台がしっかりした信仰が必要。

1-2. イエスがカペルナウムで教えていた時，どんなことがありましたか。

「この話はひどい。誰が聞いていられるだろうか」。（ヨハ 6:60 **イエスの弟子**のうち**多くの人**が，これを聞いた時に，「**この話はひどい**。誰が聞いていられるだろうか」と言った。）イエスの弟子たちがそう言ったのはどうしてでしょうか。この時，イエスはカペルナウムで教えていて，こんなことを言いました。「人の子の肉を食べず，その血を飲まない限り，自分の内に命を持てません。私の肉を食べ，私の血を飲む人は永遠の命を受け，私はその人を終わりの日に復活させます」。（ヨハ 6:53，54 イエスは言った。「はっきり言っておきますが，人の子の肉を食べず，その血を飲まない限り，自分の内に命を持てません。 54 私の肉を食べ，私の血を飲む人は永遠の命を受け，私はその人を終わりの日に復活させます。）

2 それを聞いて，たくさんの弟子たちがイエスから離れていってしまいました。でも少し前に，ある人たちはイエスの奇跡を見て，「これこそ，世に来ることになっていた**預言者だ**」と言っていました。（ヨハ 6:14 人々は**イエスが行った奇跡**を見て，「**これこそ，世に来ることに**なっていた**預言者だ**」と言いだした。）ですから，イエスに信仰を持っていなかったわけではありません。でも，その信仰は，予想外のことが起きた時に持ちこたえられるほど強くはありませんでした。

3. 使徒たちはどう反応しましたか。どうしてですか。（挿絵も参照。）

3 でも，使徒たちは違いました。イエスから，去っていきたいかと聞かれた時，ペテロがこう言いました。「主よ，私たちは誰の所に行けばよいのでしょう。あなたは永遠の命の言葉を持っています。私たちは，あなたが神の聖なる方であることを信じ，知るようになりました」。（ヨハ 6:68，69 シモン・ペテロが答えた。「主よ，**私たちは誰の所に行けば**よいのでしょう。**あなたは永遠の命の言葉を持って**います。 69 私たちは，**あなたが神の聖なる方**であることを**信じ，知る**ようになりました」。）もちろん，ペテロもほかの使徒たちも，イエスが言ったことの意味を理解できていたわけではありません。でも，イエスから離れませんでした。イエスが「神のキリスト」だということを強く信じていたからです。（ルカ 9:20 イエスは言った。「でも，**あなたたち**は，

私のことを誰だと言いますか」。ペテロが答えた。「神のキリストです」。，35 すると雲の中から声がして，「これは私の子，私が選んだ者である。彼の言うことを聞きなさい」と言った。）



たくさんの弟子たちが去っていった時も，
ペテロとほかの使徒たちはイエスから離れなかった。
（3 節を参照）

4. どんな時，信仰がぐらつくかもしれませんか。

4 私たちも，信仰がぐらつきかねない経験をします。例えば，聖句の理解が変わったり，伝道のやり方について新たな指示を受けたりして，付いていくのが大変だと思うことがあります。つらいことが起きて，エホバはどうして守ってくれなかったんだろうと思うかもしれません。クリスチャンの仲間から傷つくようなことをされたり，尊敬している相手から納得いかないことをされたりするかもしれません。

5. 信仰にはしっかりした土台が必要です。どうしてですか。（コロサイ 1:23）

5 地震の多い地域の建物は，揺れに耐えられるようにしっかりした基礎の上に建てられます。同じように，私たちの信仰にもしっかりした土台が必要です。強い土台があれば，4 節に出てきた信仰がぐらつくような経験をしても，エホバを信じてエホバにしっかり付いていられます。（コリ一 15:58 それで，**私の愛する兄弟たち，しっかり立って，動じることなく，主の活動をいつも活発に(*たくさん)**行ってください。皆さんが知っているように，**主のために働く**ことは**無駄(d*空虚)ではない**のです。コロサイ 1:23 もちろん，そのためには，**信仰を持ち続け，土台の上にしっかり立って動じないように**しなければなりません。**天の下の至る所で伝えられ**，皆さんも聞いた**良い知らせの希望から，離れていっては**なりません。私パウロは，その良い知らせを広める奉仕者となりました。を読む。）

6. 使徒たちがイエスから離れなかったのはどうしてですか。

6 多くの人がイエスに背を向けたのに，使徒たちがイエスから離れなかったのはどうしてでしょうか。次のことを確信していたからです。①エホバが全てのものを造った真の神だということ，②イエスが神の子で「永遠の命の言葉」を持っていること，③そのイエスにはエホバのサポートがあるということです。私たちも簡単にはぐらつかない強い信仰を持つには，次の 3 つのことを確信している必要があります。（1）エホバが**全てのものを造った**。（2）聖書はエホバが書かせた**特別な本**。（3）エホバはエホバの証人というグループを**サポート**している。この記事では，**信仰の土台**となるこうしたことについて考えていきます。

# エホバが全てのものを造った

7. 啓示 4 章 11 節からどんなことが分かりますか。大変な目に遭った時も，そのことを信じていることが大切なのはどうしてですか。

7 啓示 4:11「私たちの神エホバ(*)，あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。**あなたが全てのものを創造された**からです。全てのものは，あなたのご意志によって存在するようになり，創造されました」を読む。この聖句から分かるように，全てのものを造ったのはエホバです。そのエホバを崇拝するのは当然のことです。全てを造ったエホバの圧倒的な力について深く考えると，どんな問題にぶつかってもエホバなら必ず助けてくれる，ということを信じられるようになります。でもサタンは，神なんていないというううそを広めてきました。生命は偶然に存在するようになった，と言う科学者もいます。それで私たちは，エホバが全てのものを造った方で私たちのことを愛してくれている，と確信している必要があります。信仰の土台がしっかりしていないと，大変な目に遭った時もエホバが必ず助けてくれる，ということを信じられなくなってしまいます。（ヘブ 11:6 信仰がなければ，神に喜ばれることはありません。**神に近づく人**は，**神が存在**し，**熱心に仕えようと努める人たちに報いてくださる**，ということを**信じなければ**なりません。）

8-9. エホバが全てのものを造ったという確信が揺らいできたら，どうしたらいいですか。（写真と挿絵も参照。）

8 エホバが**全てのものを造った**という信仰が少し**ぐらついて**いるようなら，**そのままにしない**でください。エホバの証人が出している記事や動画の中には，エホバが全てのものを造ったといえる証拠が載せられています。そういうものを改めて調べてみるのはどうでしょうか。例えば，「生命 どこから？」とか「生命の起源 5 つの大切な質問」の冊子があります。jw.org の「だれかが設計？」のシリーズもあります。アメリカに住むジェシカという若い姉妹はこう言っています。「『生命の起源』を読んで，人間が偶然に存在するようになったはずがないと思いました。エホバが全てのものを造ったということは頭では分かってましたけど，本当にそうなんだなと心から信じられるようになりました」。「あなたのことを気づかう創造者がおられますか」の本を読んで信仰が強まった，という人も大勢います。こういう資料を改めて読み返してみるのはどうですか。

9 そうやって詳しく調べると，エホバがいることだけでなく，エホバがどんな方なのかもよく分かってきます。（ロマ 1:20 **神の見えない性質**は，**世界の創造以来明らか**です。造られた物を見れば，**神が永遠に力を持って**いて，**確かに神である**ということが分かります。ですから，彼らは**言い訳ができません。**）神が本当にいるんだろうかと疑問に思っている人を助けることもできます。エホバが全てのものを造ったという証拠は本当にたくさんあります。



Nebula: IAC/RGO/David Malin Images; fish and car: Mercedes-Benz USA; plane: Kristen Bartlett/University of Florida

「**生命 どこから？**」を読み返してみるのはどうですか。（8 節を参照）

# 聖書はエホバが書かせた特別な本

10. 聖書はどんな本ですか。（テモテ第二 3:16，17）

10 テモテ第二 3:16，17 **聖書全体**は**神の聖なる力(*)の導きによって書かれ**たもので，教え，戒め，矯正し，正しいことに基づいて指導するのに**役立ち**ます。 17 それにより，**神に仕える人**は**十分な能力を持つ**ことができ，**あらゆる良い活動を行う用意**が**完全に整い**ます。を読む。聖書には，人間へのエホバからのメッセージが書かれています。聖書を読むと，人は何のために生きているのか，エホバは人間にどう生きていってほしいと思っているのかが分かります。聖書はエホバが書かせた特別な本です。私たちはそのことを信じているので，聖書をよく読んで理解し，書かれている通りにしていきたいと思っています。

11. 聖書はエホバが書かせた本だと，あなたが信じているのはどうしてですか。

11 聖書はエホバが書かせた本だと信じられる根拠は幾つもあります。例えば，①歴史的に正確です。（ルカ 3:1，2 ティベリウス・カエサル(*皇帝ティベリウス)の治世の第 15 年，ポンテオ・ピラトがユダヤの総督，ヘロデがガリラヤの地域支配者，その兄弟フィリポがイツリアとテラコニテ地方の地域支配者，ルサニアがアビレネの地域支配者だった時， 2 アンナスとカヤファが祭司長だった時代に，荒野でゼカリヤの子ヨハネは神から言葉を受けた。）②科学的にも正確です。（ヨブ 26:7 神は北の空(d*北)を何もない所(d*空虚)に広げ， 地球を空間に浮かせている。）③聖書は約 1600 年をかけて 40 人ほどの人が書きました。それでも内容に矛盾はありません。④時代を超えて，誰にとっても役立つアドバイスが載せられています。（格 13:20 賢い人たちと共に歩むと賢くなり， 愚かな人たちと関わり合うと苦しい目に遭う; 15:21 分別のない(d*心が欠けている)人は愚かなことを喜び， 識別力のある人は真っすぐに歩む。マタ 7:12 ですから，人からしてほしいと思うことは全て，人にもしなければなりません。これが律法と預言者の書が教えていることです。）⑤聖書に書かれているたくさんの預言が，すでにその通りになってきました。（ヨシュ 23:14 皆さん，私はもう長くありません。皆さんがよく(*心を尽くし自分の全てを尽くして)知っている通り，皆さんの神エホバが話した全ての良い約束のうち，**果たされなかった言葉は一つもありません**。皆さんにとって全てその通りになりました。果たされなかった言葉は一つもありません。）⑥サタンからの妨害にもかかわらず，聖書は生き延びてきました。世界でこれほど広く読まれている本はほかにありません。」確かに，聖書は神の導きによって書かれた本です。

12. 聖書が神からの本だという信仰が弱くなっているように感じる時，何ができますか。

12 聖書が神からの本だという信仰が弱くなってきているように感じたら，どうしたらいいでしょうか。そういう気持ちをエホバに祈って伝えてください。そして聖書について調査しましょう。エホバの証人の家庭で育ったジョーダンという若い兄弟はこう言っています。「教わったことを何でもうのみにするんじゃなくて，自分でよく考えることが大切だと思います。正直，今でもこれは本当なのかなと思うことはあります。でも，そのままにしないで，納得いくまで自分で調べるようにしています」。聖書はエホバが書かせた本だといえる根拠を調べ，いつも思い出すようにしていれば，信仰の土台は強くなっていきます。（コリ一 3:12，13 **土台の上に**，金，銀，宝石

，木材，干し草，わらで**建てる**なら，13 **各人の成し遂げた仕事**がいずれ**明らかに**なり(*はっきり見え)ます。**試練の日に，火によって明らかに**なります。各人が**どんなものを建てたか**が，**火によって判明**するのです。）

## エホバはエホバの証人というグループをサポートしている

13. エホバは本当にエホバの証人を導いているんだろうかと感じる時，何ができますか。

13 「エホバは本当にエホバの証人というグループを導いているんだろうか」と感じてしまう時はどうでしょうか。そういう気持ちをそのままにせず，次のことを考えてみてください。「①聖書の**教えに従って生きようと**誠実に努力している人たちは誰だろう。②いつも**聖書に照らして物事を判断**している人たちは誰だろう」。（テモ二 4:3，4 人々が**健全な(*有益な)教えを聞こうとしなくなる時期が来る**からです。彼らは自分たちの欲望に従って，耳をくすぐるような話(*自分たちが聞きたい話)をしてもらうために教師を寄せ集めます。4 そして，**真理に耳を傾けなく**なり，**作り話に注意を向け**ます。）「③**エホバの望むことを行**っている人たちは誰だろう」（マタ 7:20，21 このように，**その人たち**は**実によって見分けられる**のです。21 私に向かって『主よ，主よ』と言う人全員が天の王国に入るのではなく，天にいる**私の父の望むことを行う人だけ**が入ります。

14. マタイ 24 章 14 節の預言の実現に，エホバの証人はどう関わっていますか。

14 例えば，エホバは，終わりが来る前に良い知らせが伝えられることを望んでいます。それでこう考えてみてください。「③'今の時代，誰が良い知らせを人に伝えているだろうか」。（マタ 24:14 そして，王国の良い知らせは，全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。）答えははっきりしています。エホバの証人です。240 以上の国や地域で神の王国の良い知らせを伝えているのは，エホバの証人だけです。エホバの証人は 100 年以上にわたって，伝道し教えることにずっと打ち込んできました。（マタ 28:19，20 それで，**行って**，**全ての国の人々を弟子と**しなさい。父と子と聖なる力の名によって**バプテスマを施し**，20 私が**命令した事柄全てを守るように教え**なさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです」。）

15. エホバの証人はどのように神の名前を大切にしていますか。（マタイ 6:9。イザヤ 43:10）

15 マタイ 6:9 それで，このように祈らなければなりません。『天におられる私たちの父よ，**お名前が神聖なものとされますよう**に。，イザヤ 43:10 エホバはこう宣言する。「**あなたたち**は**私の証人である。私に仕える者**であり，**私が選んだ**のである。あなたたちが私を知り，私に信仰を持ち(*私を信頼し)，私が変わらないことを理解するために。私の前に存在するようになった(d*形作られた)神はおらず，私の後にもいない。を読む。④私たちはエホバという名前を大切にしていて，エホバの証人と呼ばれることを誇らしく思っています。世の中の多くの人は神の名前を知りません。でもエホバの証人は，神の名前を聖書中のあるべき箇所に復元することに力を注いできました。「新世界訳聖書」の本文にはエホバという名前が 7000 回以上出てきます。

16. エホバの証人は，ヨハネ 13 章 34，35 節の命令にどのように従っていますか。（写真も参照。）

16 ヨハネ 13:34，35 私はあなたたちに新しいおきてを与えます。それは，互いに愛し合うことです。私があなたたちを愛した通りに，あなたたちも互いを愛しなさい。 35 あなたたちの間に愛があれば，全ての人は，あなたたちが私の弟子であることを知ります」。を読む。⑤分断が進んだ今の世界で，エホバの証人が愛し合い，一つにまとまっているというのは，エホバにしかできないすごいことです。エホバの証人は世界のいろんな所にいて，生い立ちや背景もさまざまですが，強い絆で結ばれています。一人一人がそのために頑張っているからです。旅行先で別の会衆の集会に行ったことがありますか。もしそうなら，場所は違っても温かい雰囲気は変わらないということを感じたのではないでしょうか。そういう愛や絆があること自体，エホバが私たちエホバの証人を導いていることの紛れもない証拠です。信仰がぐらつくようなことがあっても，このことを忘れないでいましょう。



エホバの証人が愛し合い，一つにまとまっているのは，すごいこと。（16 節を参照）

*写真や挿絵: バスで旅行中の母親と娘が，伝道しているエホバの証人を見てうれしそうにしている。

## 何があってもエホバから離れない

17-18. 私たちはどんな問題にぶつかることがありますか。でもペテロと同じどんな決意でいたいですか。

17 私たちは終わりの時代に生きているので，いろんな問題にぶつかります。（テモ二 3:1 このことを知っておきなさい。**終わりの時代は困難で危機的な時**になります。，13 **邪悪な人々や詐欺師**たちは，**惑わしたり惑わされたりしながら，ますます悪く**なっていきます。）①つらい経験をすることもあります。②エホバの組織から，理由が十分に分からない指示を受けるかもしれません。③兄弟姉妹に誤解されたり，傷つけられたりすることもあるでしょう。④今のところ，解決策が見つからない問題にぶつかることもあります。

18 そのせいでがっかりしたり不安になったりしてもエホバにしっかり付いているには，次の 3 つのことを確信している必要があります。「①エホバが全てのものを造ったこと，②聖書はエホバが書かせた特別な本だということ，③エホバはエホバの証人というグループをサポートしているということです。」こういう強い信仰の土台があれば，ペテロがイエスに言ったように，私たちもエホバに次のように言えます。「私たちは誰の所に行けばよいのでしょう。あなたは永遠の命の言葉を持っています」。

## 信仰がぐらつきそうな時、次のことを確信している必要があるのはどうしてですか

1．エホバが全てのものを造った。
・S07　全てを造ったエホバの圧倒的な力について深く考えると，どんな問題にぶつかってもエホバなら必ず助けてくれる、ということを信じられるようになる。
・S09　エホバの創造物について詳しく調べると、エホバがいることだけでなく、エホバがどんな方なのかもよく分かってきて、神が本当にいるんだろうかと疑問に思っている人を助けることもできる。

2．聖書はエホバが書かせた特別な本。
・S11　そのことを信じるなら、聖書をよく読んで理解し、書かれている通りにしていきたいと思うようになれる。
・S12　聖書はエホバが書かせた本だといえる根拠を調べ、いつも思い出すようにしていれば、信仰の土台は強くなっていく。

3．エホバはエホバの証人というグループをサポートしている。
・S13　私たちは、①聖書の教えに従って生きようと誠実に努力していて、②いつも聖書に照らして物事を判断して、③エホバの望むことを行って、④エホバという名前を大切にして、エホバの証人と呼ばれることを誇らしく思っている。⑤また分断が進んだ世界でエホバの証人だけが愛し合い一つにまとまっていることが、エホバにしかできないすごいことと確信し、信仰がぐらつかないよう助けられる。

123 番の歌 神の秩序にいつでも従う

^ 写真や挿絵: バスで旅行中の母親と娘が，伝道しているエホバの証人を見てうれしそうにしている。

^ （ヨハ 6:68） シモン・ペテロが答えた。「主よ，私たちは誰の所に行けばよいのでしょう。あなたは永遠の命の言葉を持っています。

^ （ヨハ 6:60） イエスの弟子のうち多くの人が，これを聞いた時に，「この話はひどい。誰が聞いていられるだろうか」と言った。

^ （ヨハ 6:53， 54） イエスは言った。「はっきり言っておきますが，人の子の肉を食べず，その血を飲まない限り，自分の内に命を持てません。 54 私の肉を食べ，私の血を飲む人は永遠の命を受け，私はその人を終わりの日に復活させます。